

早稲田大学気仙沼チーム

地域交流・地方創生・東日本大震災復興支援



私たちは東日本大震災直後の早稲田大学と宮城県気仙沼市のつながりから発足し、以来、継続的に復興支援活動に取り組んできました。仮設住宅や災害公営住宅での交流会、気仙沼訪問時の公募参加者へのスタディツアー実施のほか、東京で開催されるイベントへも参加しています。

2022年度は、8月のみなとまつり便をはじめとした、現地でのボランティア活動も本格的に再開しました。活動の幅は広く、イベント運営のボランティアから学習支援と、様々な方との出会いがあります。東日本大震災から10年を迎え、震災当時の姿だけでなく現在の魅力も発信することで、気仙沼がより活気溢れる元気な街になるよう復興支援を行っています。

◆活動計画

4月：新歓活動 5月：新入生歓迎イベント 8月：みなとまつり便 9月～11月：東京でのイベント運営ボランティア 3月：スタディツアー、東日本大震災追悼企画（予定）
そのほか2・3ヶ月に1回程度、現地訪問を行います。

◆Episode

気仙沼を支える人との出会いが、私たちの活動の原動力になる。早朝、まだ少し更地の目立つ魚市場前にポツンと、できたばかりの食堂と銭湯を見つけた。初めて来た私たちが「早稲田の気仙沼チームか！毎年お祭りの手伝いとかありがとね」と笑顔で迎え入れてくれた。「防潮堤建設で失った銭湯を漁師さんのために復活させたくてね」しみじみと女将さんは語る。昔から行き交う人々を大切にしてきた港だから、垣根のない優しい人たちが溢れているんだと実感した。

この街の復興の無限大の可能性と魅力は人にある。こうした幾つもの「出会い」と「ご縁」に感謝し、「ご縁」を繋ぐことで、ささやかながら気仙沼をより元気にするお手伝いをしていきたい。

問い合わせ先 kpjt2011@gmail.com
メンバー数 26人
参加費用 会費：なし（2023年度予定）
 現地活動：随時
活動時期・頻度 二・三か月に一度の気仙沼訪問
 その他月に2回程度ミーティング

